

寺崎組新聞

第九十一号

発行所 寺崎組新聞社

会津の怪人Uターン見舞い組会ダァ!

第122回組会報告(1/2日目)

2008夏の東北組会は1年ぶりのご無沙汰、仙台在住のFM佐藤が前半のレポートをします。

今回の参加者は組長KTM1LC、4E、地下鉄KTM450EXC、アペXR100、ゴ三浦なんちゃってDR250、フガXL250S(初代)、荷崩れXR650、三浦2号XR650、金子3号KTM450EXC、ミノルXR250、怪人XRバハ、FM佐藤ジェベルでした。集合場所の湯西川温泉駅前(あれ、東北じゃないや)へはお昼に到着。すでに地下鉄さんが昼食を始めているところでした。やがて次々に野宿道具を積んだオフ車が到着、久しぶりの再会でした。

それぞれが食事や出発準備をしているところ、地下鉄さんのKTMの点検をしているときにゴ三浦さんがKTMによりかかったはずみで何とKTMのスタンドが付け根からボキリと折れ、地下鉄さんがKTMの下敷きに。本人は自分の怪我よりも愛車のスタンドがなくなってしまうことにがっかりしていました。今年の組会も何かあると予感させるハプニングでした。(KTMはその後、田島でポルトを購入してスタンド復活、よかったです。)

フガさんのバイクは組長宅でよみがえった旧車で、とても私では乗りこなせない代物。こういうバイクで林道を組長のあとにびったりくっついて走るのだからフガさんはすごいと思います。宴会時のノリもすごいですけど。

さて全員集合時間の1時すぎ、いよいよ出発です。まずは安が森林道へ。峠から先の福島県側がダートで、砂みだいなフカフカの路面でとても滑りやすく、みんな苦労してしまいました。溪流沿いを走るころには路面も落ち着いて気持ちよく走れます。オ



写真X1

フバイクともちらほら出会って、林道ツーリングが廃れていないことを実感し(地元では林道を走るバイクがとて少ないので)、少し嬉しくなりました。

途中、伊南で買い出し。怪人さんがやけにそわそわしていると思ったら、ここは怪人さんのお宅からとても近いとのこと。組員にあんまり拳動不審なことをしないでほしいと願うと同時に、自分のこういう姿を誰かに見られたら噂が広まって大変だということらしいです。田舎は大変です。

買出しを済ませると一路、野宿地へ。舗装林道を登って暫くして分岐を右へ。この分岐は入口がガレガレなので普通の人はまず踏み込まないところ。そういうところを探し当てる組長の嗅覚はいつも感心させられます。自分もソロツーリングで野宿地を探すときにまねをするんですが、なかなかいい場所には当たらない。むずかしいものですね(今回の場所はどうやら以前探し当てていた所らしいですが)。



写真X2

野宿地は枝道の終点の広場で、見上げれば星空が見え、焚き火もできる、儀式のための森もあるという好立地でした。おのの好きな場所にテントを立て、車座に座ってお疲れ様のあいさつ&宴会へ。いつものように各人が腕を振るった料理が時計回りに回ってきます。三浦2号さんはたこ焼きからお好み焼きに変更、効率がよくなりました。地下鉄さんは相変わらずあざやかな手さばきでおいしい料理を作ってくれます。怪人さんが調達した地元の野菜も美味しかったです。金子3号さんの持参の地酒も好評でした。

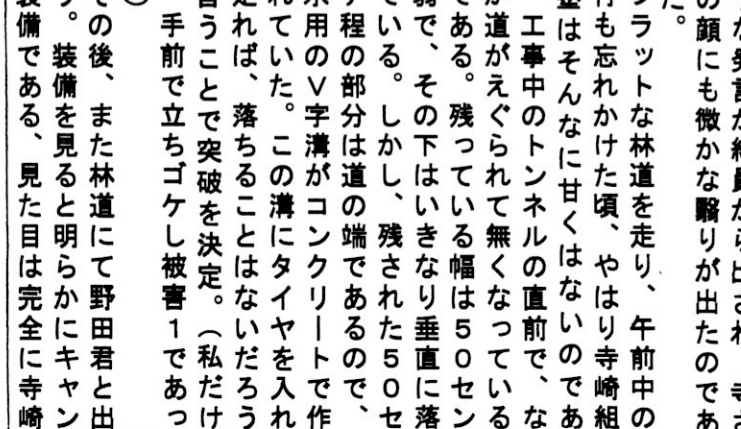
お酒が回っていると組員それぞれエンジョイがはかかってきます。アベさんは駅名を順番に呼称し、怪人さんは地元の就職難を語り(その割には明るい感じなのが怪人さんのよいところか?)、フガさんはものまねが始まり、組長はみんなに聞こえないように駄洒落を言っています。最後までくすぶりつづけていた焚き火のまわりでそれぞれが楽しい時間を過ごしたのでした。

翌朝は早朝から飲み食いが始まり、やっと10時すぎに出発(いつものことか)。組長のKTMがなかなか始動しなかったり、ゴ三浦さんが立ちゴケしたり、早速今日も何かあると思わせる組会です。いきなりダートの林道へ入りましたが、これが廃道寸前の荒れ道。半そで、Gパンで突入した三浦2号さんや、おだやかな走りをするミノルさん、はひひひい言っていました。怪人さんも途中で物を落とすし、やはり組会は何かあります。林道出口で確かめたら、これが玉川林道でした。私が以前ツーリングしていたときに廃道だからと進入をためらった林道でした。ここからは駒止湿原へのメインルートでかなり走りやすいダートです。さらに尾根沿いにアップダウンやヘアピンが少ない大窪林道が続いています。以前の組会レポートでミノルさんにお奨めした林道でしたが、組長らと走ると様相が違ってきました。ハイスピードのあまり、途中でアペさんのXRのスタンドのばねが外れてなくなっていました。地下鉄さんと共にスタンドが使えなくなっていました。しかしいろいろあるものですね。でもそれをも楽しむことができるのも組会のいいところではないでしょうか。

田島へ降りて買い出し&地下鉄さんバイク修理、そしてミノルさんとお別れ。ミノルさんお元気で、また東北の林道を走りましょう。その後、七ヶ岳林道へ入り、暫く走ったわき道で昼食。この場所は、以前の組会の野宿地だとかで、とても思い出深い場所とのことでしたが、ここでも屋敷時に何台もバイクが通り、林道ツーリングバイクの多さに嬉しくなっていました。屋敷を終えると荷崩れさんと私はここで別れ。本体は七ヶ岳林道を疾走していったのであります。

その後大きな天候不順もトラブルもなく、私は無事仙台に到着。やっぱりみんなと楽しむ野宿はやっぱりないなあと実感しました。来年も東北での開催があることを望みます。

記 FM佐藤



写真X3

その後、いろいろと理由は推測されたが、真相は闇の中である。その後、このガレ場林道はあっけなく終了、かなり早い時間だが、昼食&夕食の買出しに町に出た。リオンドールで買出しを済ませ、向いのコメリにて、1日目の集合地点で折れた、地下鉄さんのサイドスタンドのポルトを調達して修理完了。このスパーにてミノルさんは帰宅。

午後、林道は午前中の荒行とは違い、フラットで走りやすい林道であった。今度は大型オフロードバイク2台に道を聞かれた。そして今回は「寺崎組さんですか?」と声を掛けてきて、記念写真を求めたのであった。組員も一安心である。しかしその後、彼らは寺崎さんを賀曾利さんと間違えているのではないかと、再度不安がよぎるような発言が組員から出され、寺崎さんの顔にも微かな驕りが出たのであった。

フラットな林道を走り、午前中の荒行も忘れかけた頃、やはり寺崎組の塾はそんなに甘くはないのである。工事途中のトンネルの直前で、なぜか道がえぐられて無くなっている。残っている幅は50センチ弱で、その下はいきなり垂直に落ちていく。しかし、残された50センチ程の部分は道の端であるので、排水用のV字溝がコンクリートで作られていた。この溝にタイヤを入れて走れば、落ちることはないだろうと言うことで突破を決定。(私だけが、手前で立ちゴケし被害1であった。)

その後、また林道にて野田君と出会う。装備を見ると明らかにキャン

第122回組会報告(2/3日目) 2日目の報告: 去年は全欠席。今年の塾は全出席目標の病死説も流れていた三浦2号です。 2日目の朝は、出発直前のゴ三浦さんの転倒から始まった。(朝から飲んだチュー*500ccが原因と思われる。)

出発直後から、廃道のような激しいガレ場に突入。いつの間にか、グループの最後尾にセローの野田君が合流していた。(セローに乗っている、野田ナンバードからである。) 林道途中での休憩時に、野田君は寺崎さんに道を尋ねた後、我々を追い越して先に行ってしまったのだが、ここで彼は、寺崎さんに「寺崎組さんですか?」と声を掛けなかった。

それから、近くの林道の分岐道にて昼食。食事を取っていると、周囲の林道をオフロードバイクがどんどん通って行く。組員は林道ブームの再来を予感し、寺崎チーム・アゲイン!を心の中で折ったのであった。屋敷後、ダブル佐藤さんは帰宅。この時点で連泊組みのメンバー、寺崎さん、ゴ三浦さん、地下鉄さん、阿部さん、ふがさん、金子3号さん、怪人さん、三浦2号が残った。

それからの、近頃の林道の分岐道

寺崎組新聞の宣伝文句: 本格的な直し・修理・直検・軽量化。また、まよな物も壊します。(建設中ではあります)



3日目の朝は、前夜の食材が大量に残っていて、皆ポリウムたつぷりのメニューである。前夜、泥酔の為にどこに置いたか忘れてしまった地下鉄さんのコップフェルも、ふがさんのフェンダーの上で見つかり、地下鉄さんもほっとしたところでお発したばかりだが、随時解散し

組に融合しているが、彼は再び己の道を行くのであった。彼は再び己の道を... 2日目のキャンプ地は、1日目の結果、温泉付きキャンプ地となる。若干ぬるめの源泉に組員達はまったりと、くつろぐのであった。私は「ぬるい」お湯は苦手なので、入らなかつた。小雨が降ってきた為、タープを張り、キャンプ地は雨天装備となる。いつもの如く夜は盛り上がり、生命力を吸い取るようなダジャレで、お互いに切磋琢磨する組員の姿があった。この夜は疲れの為か、真つ赤なスカーフには行かず、みゆきの「フアイト」で締めくくられた。

て行く。キャンプ地を出てすぐの馬坂林道の分岐にて、地下鉄さん、あべさん、ふがさんは群馬方向に分かれる。その後湯西川林道に入る分岐にて、怪人さん、チュー*による自損転倒で足を痛めたゴ三浦さんは、舗装路にて帰宅する。残りは寺さん、金子3号、三浦2号である。この林道が結構長く、久ぶりに寺さんの後を走らせてとても楽しかった。ダジャレの応酬で奪われた生命力を、寺さんの後ろ姿からしつかり返してもらった気分であった。



最終型空冷式XR250のお披露目をさせていただきました。組会前までに事故車になっており、ビビリながらの走行でした。今回テントを小さくし、工具も車載品をメインにし、軽量化を図りましたが、ザックが落ち着かず、積み方の改善を進めます。天気は恵まれ、標高のおかげで下界よりは涼しく過ごせました。相変わらず運転が下手ですが、皆様お付き合いました。ありがとうございます。楽しい走った次の週は尿管結石が待っていました。痛い辛い七転八倒。あー。あー。(金子3号) 人という字は、バイク2台でも作れます(笑)。(地下鉄)

編集後記
大工 2人目がギョギョとよーアハハハ
倉持 いいあんげに子どもが生まれアハハ
地下 キュウリは炒めももま、よアハハ
ゴ三 キュウリは炒めももま、よアハハ
モリシタ ヤキキケンシリーズ化してアハハ
元 組長におしつけたバスバゴゴゴゴゴゴ
組長 スーパーズーの連載が
ハックになるのゴゴゴゴゴゴ

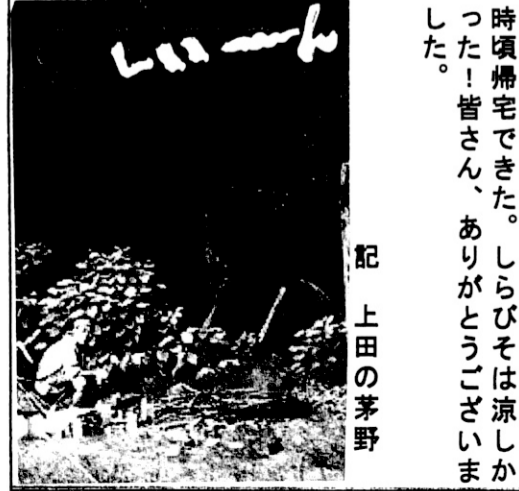


「ちいっ」、「速いっ」連邦の(あのオレンジの)MSはばけものかっ」などと、今回も組長の背中をきやきや叫びながら、必死に、無心で、ついていけるようにバイクを走らせるコトだけ考えながら、やぶごぎしたりふかふか砂利の林道を楽しみ(苦しみ)ました。これがいんです！
地下さんへ... ダイス船長でした。(ツガ金井)
●XR100モタードで初めて参加して、坂は登らないし、何処へ行くかわからない不安定な足回り、揚げ句の果てにはパンク... 燃費が良い以外は散々でした。次からはでかいバイクで参加します。(アベ)
●怪人の様子見にきました。元氣そうで何よりです。(荷崩れ)
●私がUターンして間もなく、南会津で2泊の野宿開催に感動しました。それでも余裕の無い走りの私でした。(会津の怪人・河原田)
●すみません、年のせいか、朝飲んだ水オストロング8%のせいか、動きが緩慢で立ちゴケしまして、右足甲を打撲しました。みなさんくれぐれもケガにはチュー意しましょう！(ゴ三浦)

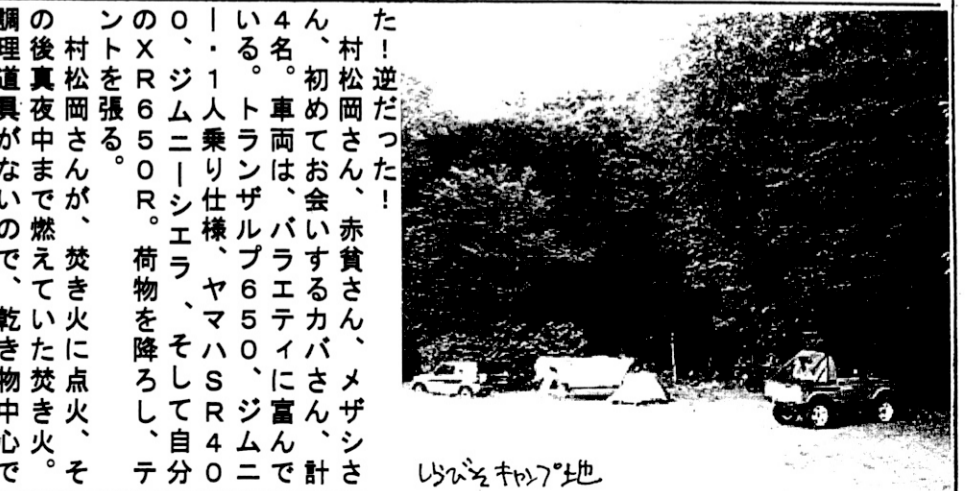
参加できる確立は50パーセント位だったので... 法事の日程が、予定より半日早く切り上げられたので、今、最もトレンディーなスポット「しらびそ」へ行くことができました。
8月15日(金)終戦記念日、北東京オリンピック8日目。午後2時、長野県上田市の自宅を出発。昨年1月、四国組会以来の野宿。1時間位で準備した為、忘れ物が多かった。出発してすぐ気付いたのが、ヘッドランプ。でも、戻ると遅くなるなあ... という事で、飯田で買うことにした。「しらびそ」のある上村、南信までは、同じ信州とはいえず、結構遠い。塩尻ICから飯田ICまで中央道を使って、時間短縮。飯田に着いて、GSで給油。そこで、「遠山郷」までの地図をGET！その後、アルペンで、SOUTH FIELDのオレンジ色のバッテリー・ランタンを購入。ヤマダ電機で、電池購入。飯田ジャスコで買出し。いざ「しらびそ」へ。

まずは、矢筈ダムを目指す。弁天橋を経由して、矢筈ダムループ橋。三遠南信自動車道「矢筈トンネル」までは、順調だった。トンネルを過ぎて、しらびそ高原への分岐、距離は23.4キロ。ここから迷った。というのも寺崎組掲示板には、「オートキャンプ場から南のほうに向かっておりていき赤貧距離で5キロ。常人距離で10キロくらい、右カーブのところに入り口があります。」とあったので、オートキャンプ場から、10キロ位をめがけて、「右カーブ・左入口」に神経を集中させていた。ところが、14.5キロ進んだところで、分岐に出してしまった。困った時の「ゴ三浦頼み」、キャンプ場から、10キロ位のところ、「右カーブ・左入口」との事。逆に戻ると、切り通しが出てくれば行き過ぎ。逆からは、左カーブ・右入口になるところに車止めがあった。チェーンが張られているとの事。で、7キロ程、戻った辺り、右カーブ・左入口の所があった。来る時も、「左カーブ・右入口」の所は気付いたのだが、逆だからチェックしなかった。もしか、と思いきや、寺崎組の皆さんですかあ？だまされまし

た！逆だった！
村松岡さん、赤貧さん、メザンさん、初めてお会いするカバさん、計4名。車両は、バラエティに富んでいる。トランザルプ650、ジムニー1人乗り仕様、ヤマハSR400、ジムニーシエラ、そして自分のXR650R。荷物を降ろし、テントを張る。
村松岡さんが、焚き火に点火、その後真夜中まで燃えていた焚き火。調理道具がないので、乾き物中心で攻めたチノでした。その後、メザンさんと色も同じバッテリー・ランタンを買っていたことが判明。シートも忘れたので、直接大地に寝ちゃってました。1時半頃まで「裏」は続いたでしょうか。ZZZ...



翌朝はベリー・ファイブ。焚き火に木をくべた後、米1合を研いで、焚く。しらびそは携帯が通じないと、の事だったが、南にいけばアンテナ・パリ3。各自、メールチェックなどをしたり、雨に備えて、タープを繋ぎ合わせたり、SR400のヘッドライト周りの整備をしたり。メザン氏は、お昼に信州そばを食べるべく、買出しに。送り盆なので、自分はその後、雨にもあわずに、午後4時頃帰宅できた。しらびそは涼しかった！皆さん、ありがとうございました。



今回も「ス」

ドレミファしらびそ宴会「信州の夏」